

GSJ 地質ニュース

GSJ CHISHITSU NEWS

～地球をよく知り、地球と共生する～

2015

10

Vol. 4 No.10



口絵		
ジョージアカオリン鉱床 [口絵]	荒岡大輔・江島輝美・森田沙綾香・須藤定久・月村勝宏・高木哲一・Mark Cocker	281~282
東京都日の出町産大理石石材「青梅石」	中澤 努・上野勝美・乾 睦子・鎌田光美	283~284

ジョージアカオリン鉱床の概要	荒岡大輔・江島輝美・森田沙綾香・須藤定久・月村勝宏・高木哲一・Mark Cocker	285~290
R/V Joides Resolution 乗船レポート： 3度乗船したセディメントロジストの視線から垣間見えること	七山 太	231~238
つくば市谷田部の地名「福田坪」と「要害」の由来と地形・地質瞥見	杉山雄一	239~305
タイにおける地中熱ヒートポンプシステム実証試験	内田洋平	306~308
新刊紹介 日本の土 地質学が明かす黒土と縄文文化	七山 太	309~310
平成 27 年度日本粘土学会技術賞を受賞 一粘土および鉱物の脆弱試料に対する薄片作製法の開発— 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター		310
GSJ 交差点		311

表紙説明

航空機から撮影された九州最南端大隅半島佐多岬の先端部分

大隅半島佐多岬は、九州最南端を構成し、大隅海峡(写真上)と錦江湾(写真下)に面している。海岸線は複雑に入り組み、海蝕崖が連なっている。この岬を構成する地層は、後期始新世～前期中新世に堆積した日南層群であり、四万十帯の西方延長部にあたる。これらは深海底で堆積した砂岩泥岩互層および乱堆積物を主体とし、その後の付加過程において様々な変形を被ったとされる。また、この岬の北部においては、中期中新世に大規模バソリスである大隅花崗閃緑岩体が貫入しており、広くホルンフェルス化している。

(写真・文：七山 太¹⁾ 1) 産総研 地質調査総合センター地質情報研究部門)

Cover Page

The headland of Cape Sata in Osumi Peninsula, southernmost part of Kyushu Island taken from an airplane.

(Photograph and caption by Futoshi Nanayama).